



特集

リスク管理

FRONT ESSAY FRONT ESSAY

●感染対策の基本は手指衛生！

感染対策の基本は手指衛生です。職場全体で手指衛生をしっかりと行うことができればその効果は絶大です。しかし、誰か一人でもできていなければその効果は著しく低下します。

また、手指衛生は誰でも行うことができますが、実践するにあたっていくつかのポイントを押さえておくことが重要です。

手指衛生におけるポイント

- 正しい方法で行えているか
- 正しいタイミングで行えているか
- その他の注意点が守られているか
- 手指衛生後に髪や顔にふれていないか
- 髪が顔にかかっているか
- 爪は短く切られているか
- 手指消毒の際に腕時計を外しているか

以上のことが守られていなければ、せっかく手指衛生を行っているのにあまり意味がないものになってしまいます。インフルエンザやノロウイルスなどが流行するこの時期に、手指衛生をもう一度見直してみましょう。



FRONT ESSAY

正しい手指衛生の実践と手荒れの予防

●手荒れの予防と手荒れの際の対応

石鹸や手指消毒剤を使用すると、手の汚れや菌などを洗い流すだけでなく、手の表面のバリアとなる保護成分も一緒に取り除いてしまいます。医療従事者は、手洗いの回数や手指消毒剤の使用回数が多くなり、それだけ手荒れのリスクに晒されています。手荒れになると菌などの感染を起こしやすくなり、皮膚に亀裂などが生じやすくなります。また、一度手荒れの状態になるとなかなか改善されないことが多く、そのため日頃からの予防が重要となります。

〈手荒れ防止のポイント〉

- 石鹸成分をしっかりと洗い流す。
- 日頃からローションを使用して手の保湿を行う。(病院にあるものが合わない場合は自分に合ったローションやハンドクリームを使用する)
- ペーパータオルで水分を拭き取る際、ゴシゴシ擦らない。
- 流水での手洗いの際にお湯ではなく、ぬるま湯もしくは冷水を使用する。
(手の表面のバリアとなる保護成分を洗い流してしまいます。)
- 治りが悪い、あるいは悪化してくる場合は、早めに皮膚科を受診して治療する。
- 一度、自分の手をチェックしてみてください。

●知っておこうAEDの設置場所

職員の皆さんは自分達が働く職場でAEDがどこに置かれているかご存じですか？
いくら使い方を知っていても、設置場所がわからなければ、いざという時に迅速な対応はできません。まずは自分の部署から近い設置場所をご確認下さい。

【羽曳野地区のAED設置場所】

- ・島田病院整形外科
- ・島田病院2階ナースステーション
- ・はびきのヴィゴラス
- ・悠々亭1階通所
- ・悠々亭3階処置室
- ・ゆうゆうハウス1階通所

設置場所には、以下の掲示があります。

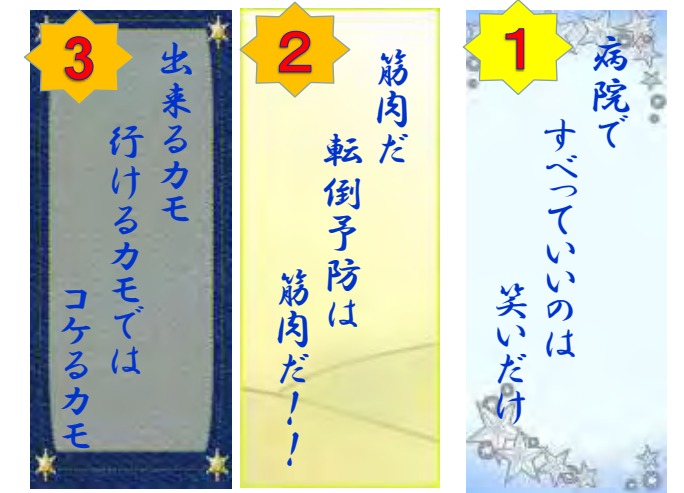
下側は最寄りのAEDの場所を示したもので、AEDを設置していない部署に掲示しています。

(総務課 望月)



●転倒予防に関する川柳

リハビリテーション部では、転倒ゼロを目指した取り組みを行っています。その一環として、転倒予防啓発用の川柳大会を開催しました。今回はリハスタッフから募集し、優秀作品を3作投票により選出しました。上位3作品は以下の通りです。



1位のスタッフは昨年の島田病院忘年会で理事長より表彰していただきました。八尾、介護エリアでも同様の取り組みを行いました。

来年度以降も第2回、第3回と続けていきたいと考えています。今後は、リハビリテーション部以外の職員、患者様からの川柳を募集・投票していただけるようにするなど、よりよい取り組みにしていきたいと考えています。ご意見・アドバイス等ございましたらリハビリテーション部までご連絡いただければ幸いです。

リハビリテーション部 小田

プランナー：リハビリテーション部 小田